

2026年度情報通信月間企画趣旨

【情報通信月間の位置付け】

情報通信月間(毎年5月15日～6月15日)は、1985年(昭和60年)の情報通信制度改革を契機として、情報通信の普及・振興を目的に設けられました。本年で第42回を迎えます。

期間中は、全国各地で情報通信に関する多様なイベントや取り組みを実施し、情報通信の発展が国民生活の利便性向上や経済成長に寄与することについて、広く理解を深めていただくことを目指します。

【ICT国家戦略 ― デジタル社会の実現】

我が国は、2001年のIT基本法制定以来、「e-Japan 戦略」から始まり、2021年の「デジタル社会形成基本法」を経て、デジタル化を推進してきました。

直近では、2025年6月に閣議決定された「デジタル社会の実現に向けた重点計画」において、制度・業務・システムを一体で改革する「三位一体改革」の推進が明記されました。同計画では、以下の5本柱を掲げ、国家のデジタル強化を図ることとしています。

1. AI導入・ガバメントAI基盤の整備
2. ベースレジストリを含むAI対応型制度・インフラ設計
3. 医療・教育・防災等における官民データ連携とDFFTの推進
4. サイバーセキュリティ・偽情報対策・リテラシー強化
5. デジタル人材育成と司令塔機能強化によるDX推進力の底上げ

【デジタル変革を通じた持続可能な地域社会と強い経済基盤の実現】

総務省が2025年8月に公表した重点施策2026では「デジタル変革を通じた持続可能な地域社会と強い経済基盤の実現」のため、AI社会を支えるデジタルインフラ整備や国際競争力強化・経済安全保障の観点での先端インフラ・技術推進などとともに、デジタル空間の健全性やサイバーセキュリティ強化による信頼できる情報通信環境の整備を積極的に取り組むべき施策として示しています。

【情報通信月間の推進】

2026年度の情報通信月間では、上記の背景を踏まえ、「AIで 広げる暮らし 愛ある社会」をテーマに、総務省と情報通信月間推進協議会が連携し、全国各地で以下の取り組みを実施します。

- 情報通信の最新技術や制度動向に関するセミナー
- 地域におけるICT講座
- ICTシステム・サービスの紹介
- 各種現場の見学会

また、6月1日には「電波の日・情報通信月間中央式典」を開催するとともに全国各地で記念式典を実施し、情報通信分野で功労のあった個人や団体に対し、総務大臣および情報通信月間推進協議会会長等から表彰を行います。